

Ⅲ. 添 付 資 料

児童相談所に対する第1回目試行調査

* モニターシート *

実態把握・評価のためのアセスメント票開発に関する調査

★ モニター・シート ★

：この度はご多忙のなか、調査にご協力いただき、心から御礼申し上げます。よりの確な支援計画策定の一助となるようなアセスメント票の開発をめざしたいと考えております。今回の試作版（初期アセスメント（基本版）および年齢別アセスメント版：乳児期用・幼児期用・児童期用・思春期用・青年期用）に関する率直なご意見を賜りたく、どうかよろしくお願ひ申し上げます。お書きいただきましたことは、すべて無記名で一括して処理させていただきますので、どうか忌憚のないご意見をお願ひ申し上げます。

ご記入後は、初期アセスメント（基本版）と一緒に7月20日までにご返送くださいますようお願い申し上げます。（年齢別アセスメントに書き込み等をして下さった場合には、本シート、初期アセスメントと一緒にご返送ください）。

1. 年齢別アセスメント（テキスト・バージョン）について

ア. 全体の枠組みについて

①問題性の背景となっている諸情報を収集・整理できる設問体系になっているか？

1. なっている 2. ややなっている 4. あまりなっていない 5. なっていない

* ご意見をお願いします：

[]

②初期アセスメント・年齢別アセスメント・相談内容別アセスメントという階層構造や、スコアリング・システムについてのご意見をお願いします：

[]

イ. テキスト・バージョンの内容について

①質問項目の内容は問題性の多様さに対応したものになっているか？

1. なっている 2. ややなっている 3. あまりなっていない 4. なっていない

* ご意見をお願いします：

[]

②記載不可能だったり（不明）、回答しにくかった項目の理由について教えてください。

[]

③その他、年齢別アセスメント（テキスト・バージョン）についてお気づきの点についてお願いします：

[]

*** 児童相談所に対する相談種別の項目重要度調査の結果 ***

＜現在および過去情報において“不要”とされた割合＞

：乳児期版・児童期版・思春期版についての集計結果、数字は%

相談種別における実態把握・評価(アセスメント)質問項目

(乳児期用)

1. 子ども

評価分類	評価項目 評価細目	質問項目及びその内容	基本版	養護 相談	虐待 相談		障害 相談	育成 相談	保健 相談
CA	CA-a 身体的発育	CA-a-1 身体サイズおよび身体機能のバランス ◆現在の身長と体重を記録して生年月日をもとに発達発育曲線上にプロットする ◆プロット位置から身体発育状況を判断する	現在	0.0	0.8	0.0	0.0	10.3	0.0
			過去	0.0	2.5	0.8	2.6	15.7	2.7
		CA-a-2 歯科学的発達状況 ◆乳歯の出現状況について、月齢とあわせて評価する ◆口腔衛生状況(虫歯および歯磨き)を評価する	6.4	10.5	7.3	13.2	26.1	9.3	
		CA-a-3 栄養状況 ◆現在の哺乳形態(該当する数字を記入)	16.9	20.4	14.2	20.2	36.2	15.7	
		◆離乳食の開始・進行状況	0.0	0.0	0.0	0.0	9.6	0.0	
			4.6	5.4	4.4	6.4	19.4	4.8	
		◆哺乳・摂食状況(食欲)	1.1	2.4	0.8	3.3	12.3	0.9	
			4.5	4.5	3.6	6.5	19.4	2.8	
		CA-a-4 身体のおざ・傷の有無 ◆身体検査時などに不自然なおざや傷などの身体的損傷の有無を確認する	0.0	0.8	0.0	7.4	14.9	11.2	
			5.8	3.5	0.9	11.2	22.3	16.3	
	CA-b 身体能力の発達	◆使用検査尺度:下記から該当する数字を記入 ◆スクリーニング検査および精査の結果から粗大運動と微細運動の発達について評価する	0.0	0.8	0.0	0.0	10.5	1.7	
			4.7	6.4	3.7	2.8	16.8	6.7	
	CA-c-1 身体疾患および身体的障害	CA-c-11 先天性の疾患や異常	0.0	0.8	0.8	0.0	7.8	0.8	
			4.5	5.4	5.4	5.5	15.7	5.7	
		CA-c-13 身体・運動機能の異常・障害	0.0	0.8	0.8	0.0	7.0	0.9	
			2.3	3.6	3.6	1.9	10.8	3.8	
		CA-c-15 感覚機能の異常・障害	0.0	1.6	1.6	0.0	8.8	0.9	
			5.7	7.3	6.4	3.7	13.7	5.7	
		CA-c-17 アトピーやぜんそくなどのアレルギー症状の有無	0.0	0.8	0.8	0.0	8.6	2.5	
			3.4	4.5	4.5	6.6	11.7	4.7	
		CA-c-19 疾患や障害の重症度と機能障害の程度	0.0	0.8	0.8	0.0	8.8	2.6	
			5.7	5.5	4.5	3.7	13.7	5.7	

評価分類	評価項目 評価細目	質問項目及びその内容	基本版	養護 相談	虐待 相談		障害 相談	育成 相談	保健 相談
	CA-c-2 情緒・行動上の問題	CA-c-21 自閉性障害の早期徴候(1歳以降) ◆対象の子どもが1歳を過ぎている場合、以下の質問を養育者にするか観察により評価する。 3項目ともに“はい”に該当する場合には、より詳しい検査(★精査尺度、例:広汎性発達障害スクリーニング尺度:乳幼児期の行動チェックリスト、長田他、2000など)や情報収集を実施する。	3.3	4.2	5.0		2.5	10.8	5.4
			9.4	11.5	8.6		6.0	16.8	9.4
		CA-c-22 反応性愛着障害の早期徴候(1歳以降) ◆子どもが1歳を過ぎている場合、以下の2項目のどちらかにあてはまるかどうか、養育者に対する質問あるいは観察によって評価する。どちらかに当てはまる場合には、虐待的な養育がないかどうか、背景情報から検討する必要がある。	3.3	1.7	1.6		4.2	10.7	6.3
		9.3	5.7	4.6		7.8	15.3	10.1	
		CA-c-23 衝動のコントロール性に関する問題行動傾向(6ヶ月以降) ◆子どもが6ヶ月を過ぎている場合、以下の項目にあてはまる行動がしばしばみられるかどうか、養育者に質問するか観察する。すべてにあてはまる場合には、対象の子どものこの時点での衝動コントロール性は弱く養育の困難に関連するかもしれない。	0.0	0.8	0.0		0.0	7.0	4.4
			5.7	4.7	1.8		3.8	12.1	8.0
CB									
	CB-a-1 自己意識のめばえ (1歳3ヶ月以降)	CB-a-1 自己意識のめばえ(1歳3ヶ月以降) ◆子どもが1歳3ヶ月を過ぎている場合、以下の質問をするか、観察する。	6.4	3.3	3.3		5.0	11.5	6.1
			15.9	13.1	13.2		12.6	18.4	12.9
	CB-b-1 情緒表現の発達	CB-b-1 情緒表現の発達(6ヶ月) ◆子どもが6ヶ月を過ぎている場合、以下の質問をするか、観察する。	3.2	0.8	0.8		2.5	8.8	2.6
			13.8	10.3	8.5		10.8	17.5	12.1
CC.									
	CC-a 他者とのコミュニケーション能力	CC-a-1 言語および非言語的コミュニケーションの発達 ◆使用検査尺度:下記から該当する数字を記入 ◆スクリーニング検査および精査の結果から言語発達について評価する	2.2	1.7	2.5		2.5	9.0	3.6
			11.6	9.3	9.3		7.6	18.6	12.0
		CC-b-1 養育者との関係性の特徴(安定した愛着が形成されているかどうか:アタッチメントQソート尺度から数項目を採用、精査パックあり)(1歳以降) ◆対象の子どもが1歳を過ぎている場合、以下について養育者に質問するか観察する。4項目とも“いいえ”なら、養育者との関係性は安定したものでないかもしれない、さらに詳しい情報や観察が必要かもしれない。	2.2	1.6	2.4		3.3	12.5	7.1
			9.2	6.5	7.2		5.8	17.3	10.9
CD.									
	CD-a-1 認知発達の程度	◆使用検査尺度:下記から該当する数字を記入 ◆スクリーニング検査および精査の言語的発達、微細運動の発達、対人的(社会的)発達の3つの観点から認知発達の遅れの有無について判断する	1.1	1.7	0.8		0.8	9.8	2.7
			12.9	11.3	9.3		7.8	18.6	10.0
CE.									
	CE-a-1 生活リズム	◆生活リズムの規則正しさ(睡眠・食欲) 子どもが6ヶ月を過ぎている場合、以下の生活リズムに関する項目について養育者に質問するか観察する。	1.1	0.8	0.8		0.8	8.0	1.8
			11.6	10.2	7.3		8.7	18.4	10.2

評価分類	評価項目 評価細目	質問項目及びその内容	基本版	養護 相談	虐待 相談		障害 相談	育成 相談	保健 相談
CF									
CF-b-1	子どもの発達課題の達成状況	◆ 乳児期の発達課題である“養育者との愛着形成”について、CA-c-22、CC-b-1の結果や、面接、観察情報から総合的に評価する。	0.0	0.0	0.0		1.6	6.1	2.6
			6.9	4.6	4.6		7.8	13.1	7.9
CF-b-1	妊娠中～出生児の状況	CF-b-1 妊娠中～出生時の状況 ◆ 対象の子どもの妊娠・出産は望まれたものだったかどうかを尋ねる ◆ 妊娠中と分娩の問題の有無について、母子健康手帳や養育者への質問などから確認	5.4	4.8	4.0		8.3	13.0	9.6
			9.3	8.3	8.2		10.8	16.0	11.0
		◆ 出生時の問題の有無について、母子健康手帳や養育者への質問などから確認する	4.3	4.1	3.3		4.2	10.5	4.4
			9.5	8.5	9.3		9.0	16.3	8.2
CF-b-2	子どもの健康診査の受診状況	◆ これまでの健診の受診歴とその結果	12.0	0.8	0.8		0.8	7.1	1.8
			9.4	8.9	9.2		8.7	16.2	8.0
CF-b-3	既往歴	CF-b-3 既往歴（作成中） ◆ 疾患既往とその治療歴（入院の有無） ◆ 事故・怪我とその治療歴	0.0	0.8	0.8		1.7	6.3	0.9
			9.5	8.3	8.3		8.7	14.1	9.1
CF-b-4	養育歴	CF-b-4 養育歴（作成中） ◆ 実の親との離死別経験の有無とその期間 ◆ 託児経験の（保育園など）有無と期間、託児先	0.0	0.0	0.0		2.5	6.2	3.6
			7.1	7.5	8.5		11.0	14.7	10.3
CF-b-5	その他の特記事項	CF-b-5 その他の特記事項（作成中） ◆ 特記事項の有無	6.3	3.9	2.9		4.0	9.5	4.1
			9.5	8.0	6.8		7.2	13.6	7.2
CF-c	子どもの気質的特徴	◆ 対人的な行動特徴（人見知り傾向） 子どもが6ヶ月を過ぎている場合、対象の子どもの見知らぬ人に対する行動のようすについて養育者に質問するか観察する。	2.2	0.8	0.8		2.5	7.1	4.4
			10.8	10.4	9.4		12.0	16.5	15.5
		◆ 欲求不満耐性（がまん強さ） 子どもが6ヶ月を過ぎている場合、以下の対象の子どもにとってのぞましくないような場面でのようすについて養育者に質問するか観察する。	4.3	4.1	4.1		5.9	9.8	7.1
			13.3	13.5	12.5		15.0	18.8	16.7
◆ 注意の集中性 子どもが6ヶ月を過ぎている場合、対象の子どもの注意の集中性に関する以下の項目について行動のようすについて養育者に質問するか観察する。	3.2	3.3	3.3		5.0	8.9	6.3		
	10.8	11.5	10.6		14.0	17.7	16.7		

2. 家庭

評価分類	評価項目 評価細目	質問項目及びその内容	基本版	養護 相談	虐待 相談		障害 相談	育成 相談	保健 相談
FA.									
FA-a 養育者およびメンバーの身体疾患・身体障害	◆ 現在の主たる養育者について		0.0	0.8	0.8		1.7	6.1	1.7
	◆ 養育に参加しているその他の家族メンバーの状況		1.1	1.6	1.6		2.5	7.1	2.7
	◆ 対象の子どものきょうだい		1.1	2.5	1.6		3.3	8.8	4.4
FA-b 養育者および家族メンバーの精神障害	◆ 現在の主たる養育者について		0.0	0.8	0.8		1.7	6.2	1.8
	◆ 養育に参加しているその他の家族メンバーの状況		1.1	1.6	1.6		2.5	7.1	2.7
	◆ 対象の子どものきょうだい		1.1	2.5	2.5		3.4	8.9	4.5
FA-c 養育者およびメンバーのその他の健康に関する問題	FA-c-1 養育者の抑うつ度 養育者の抑うつ症状と重症度をチェックする。以下の3項目を質問し、すべて“はい”なら精査用の自己記入式うつ病スクリーニング尺度を実施するなど、さらに詳しい情報を収集する(★DSM-IVより)。 ◆主たる養育者についての評価 ◆そのほかの養育者についての評価		1.1	0.8	0.8		1.7	6.1	1.8
	FA-c-2 養育者のアルコール濫用度 養育者のアルコール濫用度をチェックする。以下の5項目を質問し、すべて“はい”なら、さらに詳しい情報を収集する(★Smith, 1997より)。 ◆主たる養育者についての評価 ◆そのほかの養育者についての評価		1.1	1.6	1.6		3.3	7.8	3.5
	FA-c-3 養育者の家庭内での暴力使用 養育者の家庭内での暴力使用傾向をチェックする。以下の3項目を質問し、どれか1つ以上にあてはまるなら“暴力使用あり”とし、さらに詳しい情報を収集する。 ◆主たる養育者についての評価 ◆そのほかの養育者についての評価		0.0	0.0	0.0		0.8	6.1	1.8
FB.									
FB-a 養育者から見た親子の愛着関係	FB-a-1 養育者から見た親子の愛着関係 主たる養育者およびそのほかの養育者の対象の子どもの愛着関係についての評価について、以下の4項目の質問をする。すべてに“いいえ”と回答する場合には、対象の子どもの関係形成に養育者が困難を抱えている可能性があるかもしれず、精査尺度(★The Inventory of Parent and Peer Attachment, Armsden & Greenberg, 1987; 信頼感尺度, 酒井他, 2002; 産後ボンディング尺度, Brockington et al., 2001)などや面接の経緯、観察によってさらに詳しい情報を収集をする。 ◆主たる養育者についての評価 ◆そのほかの養育者についての評価		0.0	0.8	0.8		2.5	7.0	3.5
	FB-a-2 配偶者間の情緒的関係 両親が存在する場合、または主たる養育者とそのパートナーとの関係性について以下の4項目について質問する。すべてに“いいえ”と回答するときには、配偶者間に問題が存在するかもしれず、さらに詳しい情報を収集する。(★夫婦関係尺度, Marital Adjustment Test, Lock, 1954; 菅原他, Marital Love Scale, 1998より)		2.2	1.6	1.6		4.2	8.8	6.1
	FB-a-2 配偶者間のコミュニケーション		2.2	2.5	2.5		5.0	9.6	7.0
	FB-a-3 きょうだい関係 対象の子どものきょうだいがいる場合、きょうだいのようすについて、養育者に質問するか観察する。		3.2	3.3	3.3		5.8	10.5	8.8

評価分類	評価項目 評価細目	質問項目及びその内容	基本版	養護 相談	虐待 相談		障害 相談	育成 相談	保健 相談
	FB-a-4 同居家族 間のその ほかの関 係性	FB-a-4 同居家族間のそのほかの関係性 家庭内のそのほかの対人関係について以下の質問をする。 ◆対立関係にあるのは	1.1	1.7	0.8		5.0	7.1	6.2

FC.

FC-a-1	FC-a-1 家族関係の安定性 家族のまとまり(凝集性)について以下の質問をする。すべていいえなら、家族はまとまりを欠いているかもしれない、さらに詳しく情報を収集する(★FACES-Ⅲ、Olson, 1997, 家庭の雰囲気尺度、菅原1999などより)	2.2	3.3	3.3		6.7	8.8	7.1
FC-a-2	FC-a-2 家族の行事 ◆ 家族の行事や旅行などの活動が実施されているか質問する(★Family Activity Scales, Smith, 1985より)	4.4	6.7	5.0		11.0	11.6	15.2
FC-b-1	FC-b-1 メンバーのライフスタイルと生活価値観 (作成中) ◆ 主たる養育者とその他の養育者の仕事・家庭生活・趣味に対する価値観がどれに近いかを本人たちが、あるいは面接者に尋ねる(近い物を一つ選択)	2.2	5.8	5.0		11.0	13.3	17.7

FD.

FD-a-1	◆ 就労(生計の確保)・家事・子育ての3つの分担が家族内でどのように行われているか質問し、以下の選択肢のうち該当するものを記入する。	1.1	2.5	2.5		7.5	9.6	8.8
FD-a-2	◆ 家庭内での決定権のありかたについて質問する(★FACES-Ⅲなどより)。	3.3	4.1	5.0		11.8	11.5	15.0
FD-b	FD-b 今回の主訴に対する家族メンバーの認識と取り組みの状況を尋ねる	1.1	1.7	2.5		6.7	8.8	8.0

FE.

FE-a-1	◆ 同居家族 現在対象の子どもと同居している人全員の番号を記載する(該当する番号を併記)	3.3	2.5	3.3		5.1	9.8	6.3
	◆ 住居の形態 対象の子どもが生活している住居について、養育者などに質問するか、現況観察をおこなってみていく。(該当する番号を記載)	3.3	1.6	2.5		7.5	10.5	8.0
	◆ 住居の清潔度と乱雑さ(★Family Cleanliness Scale, Davie et al, 1984; CHAOS尺度: Psychometric Characteristics of the Confusion, Hubbub, and Order Scale, Matheny et al, 1995より)	2.2	1.6	1.6		8.5	12.5	8.0
	◆ 住居に対する住み心地の良さ	9.9	10.0	9.2		14.5	17.9	17.0

評価分類	評価項目 評価細目	質問項目及びその内容	基本版	養護 相談	虐待 相談		障害 相談	育成 相談	保健 相談
FE-b-1 家庭の社会・経済 的状況	◆ 養育者の学歴 主たる養育者とそのほかの養育者の2名について情報を得る。選択肢の中から該当するものを1つ選んで記入。		3.2	4.0	3.2		9.9	12.2	14.8
	◆ 養育者の就労状況 主たる養育者とそのほかの養育者の2名について情報を得る。選択肢の中から該当するものを1つ選んで記入。		0.0	0.8	0.8		6.7	10.5	11.4
	◆ 家庭収入 家庭のおよその年収について尋ねる。同居家族全員の中で収入のある人について、ボーナスを含め、税込みで過去1年間の収入額を聞く。		2.2	2.4	2.4		17.4	20.0	27.8
	◆ 借金・ローン返済 借金やローン返済が家計をどの程度圧迫しているか質問する。		1.1	0.8	0.8		14.9	16.5	24.3
	◆ 養育者の職業 主たる養育者を始め、3人までの同居人の職業を尋ねる。あてはまる番号を記入する。		0.0	0.8	0.8		7.4	9.6	14.8
	◆ 就労形態 主たる養育者とそのほかの養育者の職業を尋ねる。あてはまる番号を記入。		1.1	0.8	0.8		8.3	9.6	14.2
	◆ 就労時間 所定内労働時間、残業時間、休日出勤、持ち帰り仕事、時間外の接待など、仕事と考えられる実質的な労働時間について、この3ヶ月を平均してみると1ヶ月あたり何時間くらいになるか尋ねる(実時間数を記入)。		3.3	4.9	4.9		11.7	13.9	21.2
FE-c 養育機能 (ペアレン ティング)	FE-c-1 子育てに関する基本的スキル 養育に関する基本事項が遂行されているかどうかを確認する。すべてがいいえなら、養育者の子育てスキルは低いものかもしれない、外部サポートの必要があるかもしれない。		1.1	0.0	0.0		4.1	8.7	4.3
	FE-c-2 教育的関心度 対象の子どもの教育に対する養育者の関心や行動をみる。養育者に直接尋ねるか、観察する(HOME, Bradley, 1983, ほか)。		6.5	6.5	4.9		10.9	12.5	13.3
	FE-c-3 養育行動 主たる養育者とそのほかの養育者の対象の子どもに対するかわり方について評価する。観察するか、養育者に直接質問する。ケアの温かさや過干渉傾向、および不適切な養育行動(マルトリートメント)の3つの側面から見ていく(①と②は、Parent Behavior Inventory; Lovejoy et al., 1999 Parental Bonding Instrument; Parker et al., 1979; Maternal Sensitivity Scales; Ainsworth, 1969より、③はParent Behavior Inventory; Lovejoy et al., 1999, 「虐待防止の手引き」厚生労働省より)。 ①ケア: 得点が高いほど良好なかわり ②過干渉(行動制限): 得点が高いほど問題のあるかわり ③不適切な養育行動(マルトリートメント): 得点が高いほど問題あるかわり		2.2	0.0	0.0		2.5	8.7	7.9
	FE-c-4 子育てストレス(ストレッサー評価) 子育てに関する困難をどの程度抱えているか尋ねる。すべてあてはまるなら、子育て支援の必要度は高いかもしれない、さらに面接を継続したり、精密尺度(Daily Hassles Scale, 子育て支援尺度、子育てバーンアウト尺度など)を用いるなどして詳しく情報を収集することが必要かもしれない。		2.2	0.0	0.0		2.5	7.8	6.1
	FE-c-5 子育て意識 子育てに関するポジティブ、ネガティブ両面の意識について質問する(菅原他, 1999より)。多くの養育者は両面を感じているだろうが、もしもネガティブな気持ちのみが膨らんでいる場合には、FE-c-3と同様に子育て支援の必要度は高いかもしれない。		2.2	0.0	0.0		3.3	7.9	7.0
	FE-c-6 子育てのサポート資源 主たる養育者について、子育てについて相談したり、子どもを預かってくれる対象がいるかどうかを質問する。あてはまる番号を列記する。		2.2	0.8	0.8		1.7	8.7	4.3
FE-d 家庭全体としての社会参加度 家庭全体として社会(地域や職場)にどのように関わっているか質問する。すべてがいいえなら、当該の家庭は社会から孤立しているかもしれない、さらに詳しい情報を得る必要があるかもしれない。		3.2	3.3	3.3		8.3	10.5	12.3	
FF.	FF-a. 家族の特徴(家族アイデンティティ)	◆ 現在の家族の戸籍的關係 ◆ 養育者たちの出自家族との関係性 ◆ 現在の家族・家庭に対するメンバーの総合的評価・受容感	0.0	0.8	0.8		4.2	9.6	7.0

評価分類	評価項目 評価細目	質問項目及びその内容	基本版	養護 相談	虐待 相談		障害 相談	育成 相談	保健 相談
	FF-c 家庭の課題	FF-c 家庭の課題 ◆ 家庭メンバーの家族・家庭のあり方に対する課題意識と将来計画	4.3	4.1	4.1		10.8	13.9	17.5

3. 地域社会

評価分類	評価項目 評価細目	質問項目及びその内容	基本版	養護 相談	虐待 相談		障害 相談	育成 相談	保健 相談
------	--------------	------------	-----	----------	----------	--	----------	----------	----------

SA.	SA-a-1	SA-a-1 近隣の同年齢児童の存在と交流状況 対象の子どもの居住する地域に同年齢の子どもたちがどの程度存在するのか、また対象の子どもがその子どもたちと交流できているかどうかについて、おおまかな状況をつかむ。	3.3	5.8	3.3		5.9	9.6	15.2
	SA-a-2	SA-a-2 近隣との地域コミュニケーションのようす 対象の子どもの居住する地域の地域交流や連帯意識のありかたについて、また対象の子どもの家庭がそれらにどのように参加しているか、おおまかなようすをつかむ。	3.3	4.9	3.3		7.5	9.6	15.9
	SA-b	SA-b 居住地の状況と養育の利便さ ◆ 対象の子どもの居住地の特徴 対象の子どもの現在の居宅が属する地域を1つ選択する。	6.6	9.2	9.2		11.8	15.0	17.9
		◆ 対象家庭の近隣の養育に関する利便性(★松本, 2002より) SA-b-2	8.9	11.1	12.0		13.6	15.2	17.0
		◆ 周辺環境に関する満足度	15.6	19.2	16.7		18.5	21.2	25.0
	SA-c	SA-c 地域の安全性・健全性 ◆ 居住地域の安全性	15.6	18.5	16.0		17.9	20.4	22.5
	SA-d	SA-d 地域の遊び場とその利用状況 ◆ 対象の子どもの居住地域内の児童館、児童公園(遊園)の有無とその活動状況、また対象の子どもの家庭のそれらへの利用状況について養育者などに尋ねたり、調べたりする ① 児童館 ② 児童公園	9.9	14.9	9.9		12.5	13.9	20.4
	SA-e	SA-e 文化的環境 居住地域の子育て関連の養育者や子ども向けの事業や学習機会の有無とその利用のようす(1つ選択)	14.3	15.6	11.5		13.3	13.9	18.6
	SA-f	SA-f 自然環境 ◆ 近隣の自然環境のようすや自然公園の有無、および対象の子どものそれらへのアクセス状況について見る(1つ選択)。	19.8	19.8	19.8		20.2	20.4	24.8

SB.

SB-a,b,c,d	SB-a,b,c,d ソーシャル・サポートの実態と評価 ◆ 子どもや養育者、あるいは家庭に対する現在の支援者および将来期待できる家庭外のサポート資源についての見通しを聞く。面談者に直接尋ねるか、調査して判断する。現在、困ったときに頼りにしているのはだれか、尋ねる(あてはまる人すべてをあげる)。	1.1	0.8	0.8		0.8	7.8	6.2
------------	--	-----	-----	-----	--	-----	-----	-----

SC.

SC-a-1	SC-a-1 対象の子どもが利用している保育・教育機関(施設?)の養育環境 対象の子どもが保育所や幼稚園などの保育・教育機関を利用している場合、当該機関の種類、利用時間、養育環境の良好さについて情報を収集する。必要ならば現況観察をおこなう(★NICHD, Early Child Care Research Network, 保育環境評価スケールなど) ◆ 利用の実態 ◆ 利用施設の養育環境の適切さ (HOME, Bradley, 1988など)	4.4	4.8	4.0		5.8	10.4	8.8
--------	---	-----	-----	-----	--	-----	------	-----

評価分類	評価項目 評価細目	質問項目及びその内容	基本版	養護 相談	虐待 相談		障害 相談	育成 相談	保健 相談
		◆ 利用施設と家庭との連携の状態(保育園との信頼関係尺度、伊藤ほか、20043) ◆ 預け先での現在の子どもの適応状況	4.4	4.1	4.1		4.2	11.5	8.1
SD.									
	SD-a 利用可能な おもな サービ ス・支援 機関の有 無とその 利用度	SD-a 利用可能なおもな子育てサービス・支援機関の有無とその利用度 ◆ これまでに子育てに関して行政機関や民間機関に相談したことや利用したこと、あるいは活動に参加したことあるかどうか面談者に尋ねる。同時に、今回のケースの解決に役立つ機関があるかどうか、面談者とともに検討する。	1.1	1.6	1.6		2.5	8.0	3.6

相談種別における実態把握・評価(アセスメント)質問項目

(児童期用)

1. 子ども

評価分類	評価項目 評価細目	質問項目及びその内容	基本版	養護 相談	虐待 相談	非行 相談	障害 相談	育成 相談	保健 相談
CA.									
CA-a 身 体的発育	CA-a-1 身体サイズおよび身体機能のバランス ◆ 現在の身長と体重を記録して生年月日をもとに発達発育曲線上にプロットする <参考:平成15年度学校保健統計調査標準成長曲線(文部科学省調査)> ◆ プロット位置から身体発育状況を判断する	現在							
		1.1	0.8	0.8	9.0	2.5	4.1	2.5	
		過去							
		3.4	3.5	0.9	22.1	4.4	11.4	2.8	
CA-a-2 歯科学的発達状況 ◆ 永久歯の出現状況について、遅れがないかみていく ◆ 口腔衛生状況(虫歯および歯磨き)を評価する。	11.6	11.4	9.0	27.3	14.0	18.2	11.9		
	20.0	21.9	17.1	42.2	22.7	34.5	19.8		
CA-a-3 栄養状況 ◆ 哺乳・摂食状況(食欲) 最近1ヶ月程度の期間について、病気時ではないときの食欲について情報収集する。食欲不振か食欲過多かをそれぞれ判断する。	3.2	1.6	0.8	15.7	5.0	7.4	2.6		
	11.0	8.0	5.4	27.0	15.0	16.5	10.6		
CA-a-4 身体のおざ・傷の有無 ◆ 身体検査時などに不自然なおざや傷などの身体的損傷の有無を確認する	2.1	1.6	1.6	9.0	7.4	7.4	7.7		
	4.5	3.6	1.8	12.6	11.0	12.8	14.2		
CA-b 身 体能力 の発達	CA-b 身体能力の発達 ◆ 体力の発達 年齢相応の体力の発達が進んでいるかどうかを体力診断(垂直とび、握力、立位体前屈、反復横とび、踏み台昇降など)の結果から評価する。 ◆ 運動の不器用さ 微細および粗大運動における不器用さを有しているかどうか以下の項目について養育者や教師に質問するかあるいは観察によって評価する。(Movement-ABC, Clumsiness Screening Scale より)	3.2	7.3	4.1	17.1	3.3	8.1	6.8	
		5.6	10.7	7.2	21.4	4.6	13.6	11.2	
CA-c-1 身 体疾患 および身 体的障害	◆ 先天性的疾患や異常、身体・運動機能の異常・障害、感覚機能(視覚や聴覚など)の異常や障害およびアレルギー症状(アトピーやぜんそく)の有無についての情報を収集する。	2.1	3.3	2.5	9.9	0.8	5.0	2.6	
		4.5	5.6	4.6	14.7	2.8	7.4	4.8	
CA-c-113 身 体・運動機能の異常・障害		1.1	4.1	1.7	7.4	0.8	3.3	2.6	
		4.4	4.6	2.8	11.1	0.9	4.7	2.9	
CA-c-115 感 覚機能の異常・障害		3.2	8.3	4.2	12.6	1.7	6.7	3.4	
		6.7	11.1	8.4	16.7	3.7	10.3	5.8	
CA-c-117 ア トピーやぜんそくなどのアレルギー症状の有無		2.1	3.3	3.3	9.8	2.5	2.5	1.7	
		5.5	4.5	5.5	14.5	6.5	6.4	3.8	
CA-c-119 疾 患や障害の重症度と機能障害の程度 ◆ 入院の有無、障害の認定および日常生活の困難度について、情報を収集する。		1.1	3.3	1.7	12.4	3.3	3.3	0.9	
		3.3	5.5	3.7	18.2	0.9	5.5	1.9	

評価分類	評価項目 評価細目	質問項目及びその内容	基本版	養護 相談	虐待 相談	非行 相談	障害 相談	育成 相談	保健 相談
	CA-c-2 精神障害	CA-c-2 精神障害 ◆ 精神障害の有無についての情報を収集する。 情報収集方法: a. 診察 b. 養育者の報告 c. 学校や施設の記録・報告 3. 障害あり・2. 疑いあり 1. なし CA-c-21 障害の種類 CA-c-22 (2つ以上ある場合は、数字を併記)	4.2	6.6	4.2	6.6	3.3	5.0	7.0
		6.7	11.1	9.3	10.2	6.5	7.5	9.8	
	CA-c-23 障害の重症度と機能障害の程度 ◆ 入院の有無、障害の認定および日常生活の困難度について、情報を収集する。	4.2	5.8	4.2	9.9	4.2	5.8	6.0	
		8.9	11.1	9.3	14.8	6.5	9.3	9.6	
情緒・行動上の問題	CA-c-31 反応性愛着障害の徴候 ◆ 以下の2項目のどちらかにあてはまるかどうか、養育者や教師に対する質問あるいは観察によって評価する。どちらかに当てはまる場合には、不適切な養育がないかどうか、背景情報から検討する必要がある。	3.2	2.5	0.8	3.3	3.3	2.5	7.8	
		6.6	5.4	3.6	6.3	7.3	5.5	11.3	
	CA-c-32 反社会的問題行動傾向(行為の反社会性) ◆ 以下の項目にあてはまる行動がしばしばみられるかどうか、養育者や教師に質問するか観察する(Strength and Difficulties Questionnaire, Goodman, 1999)。すべてにあてはまる場合には対象の子どもは行為の反社会性を有しているか、DSM-IV-TR(アメリカ精神医学会, 2000)などの行為障害に相当しないかどうか精査する。	3.2	2.5	0.8	1.6	5.8	3.3	11.1	
		5.6	8.1	2.7	2.7	9.3	5.5	17.1	
	CA-c-33 注意欠陥・多動傾向 ◆ 以下の項目にあてはまる行動がしばしばみられるかどうか、養育者や教師に質問するか観察する。すべてにあてはまる場合には、対象の子どもは多動傾向や注意散漫さを有していることが示唆され、DSM-IV-TR(アメリカ精神医学会, 2000)などの注意欠陥・多動性障害に相当しないかどうか精査する(Strength and Difficulties Questionnaire, Goodman, 1999)。	2.1	2.5	0.8	2.5	1.7	0.8	10.3	
		5.5	8.1	4.5	5.4	3.6	4.5	14.2	
	CA-c-34 学習障害傾向 ◆ 以下の項目にあてはまる行動がしばしばみられるかどうか、養育者や教師、あるいは本人に質問するか、観察する。どれかにあてはまる場合には、対象の子どもは読む、書く、計算能力における特異的な問題を有している可能性が示唆され、DSM-IV(アメリカ精神医学会, 2000)などの学習障害に相当しないかどうか精査する(学習障害のスクリーニング、宇野, 2004)。	2.1	5.8	2.5	3.3	5.0	0.8	11.1	
		5.6	10.1	5.6	5.5	7.3	6.4	16.0	
	CA-c-35 抑うつ傾向 ◆ 以下の項目にあてはまる行動が1週間以上にわたって継続してみられるかどうか、本人や養育者、教師に質問するか、観察する。すべてにあてはまる場合には、対象の子どもは抑うつ状態にあることが示唆され、DSM-IV-TR(アメリカ精神医学会, 2000)などのうつ病性障害などに相当しないかどうか精査する(Birleson, Child Depression Self-rating Scale, 1981, 菅原他, 2002, 11)。	3.1	4.9	1.7	4.1	7.4	0.8	10.3	
		8.8	9.9	6.4	9.0	12.7	6.4	15.1	
	CA-c-36 学校不適応傾向 ◆ 登校困難 以下の項目について、本人、養育者、教師に質問するかあるいは観察によって評価する。(学校不安感尺度、猪子, 2004)。 ◆ 学校での孤立感 以下の項目について、本人、養育者、教師に質問するかあるいは観察によって評価する。(学校不安感尺度、猪子, 2004; 学校不適応感尺度、酒井他, 2003)。 ◆ 学校での反社会的行動 以下の項目について、本人、養育者、教師に質問するかあるいは観察によって評価する。(学校不適応感尺度、酒井他, 2003)。	2.1	3.3	1.7	1.6	4.2	1.6	11.1	
		6.7	8.2	5.5	2.7	7.3	4.5	17.9	
	CA-c-37 家庭内での暴力使用 ◆ 対象の子どもの家庭内での暴力使用傾向をチェックする。以下の3項目を質問し、どれか一つ以上当てはまるなら“暴力使用あり”とし、さらに詳しい情報を収集する。	3.2	5.0	5.0	1.6	6.7	2.4	12.4	
		7.8	10.0	8.2	2.7	14.7	6.3	19.6	
	CA-c-38 自傷的行為 ◆ 以下のような自傷的な行為があるか、養育者に質問するか観察によって評価する。	3.2	4.1	1.7	4.1	3.3	0.8	11.2	
		9.0	9.1	4.6	8.2	9.2	4.5	19.2	

評価分類	評価項目 評価細目	質問項目及びその内容	基本版	養護 相談	虐待 相談	非行 相談	障害 相談	育成 相談	保健 相談
CB									
CB-a-1 自己概念と自己評価	CB-a-1 自己概念と自己評価 ◆ 子どもが現在の自分をどう評価しているか、本人に尋ねる (Harter, SelfPerception Profile for Children, 1988より)。		5.2	6.7	5.0	4.1	9.2	3.3	15.4
			15.1	15.1	10.4	10.3	24.3	12.4	20.4
		CB-a-2 自己制御性(自己志向性) ◆ 以下の質問を本人や養育者、教師に質問するか、観察する(Cloninger, 1996, Junior-TCIから)。	2.1	3.4	1.7	2.5	6.7	1.7	14.7
		12.6	14.2	9.3	8.3	20.2	10.3	28.2	
	CB-a-3 自己受容感 子どもが現在の自分を受け入れているかどうか、本人に尋ねる (Harter, SelfPerception Profile for Children, 1988より)。		3.2	2.5	2.5	3.3	7.7	2.5	13.8
			14.0	14.2	11.3	10.3	18.4	13.2	27.2
CB-b-1 情緒表現の発達	CB-b-1 情緒表現の発達 ◆ 情緒の発達(羞恥感、感動、嫉妬)に関する以下の項目を本人、養育者、教師に質問するかあるいは観察によって評価する。		3.2	4.2	3.4	4.1	6.8	3.3	16.4
			13.6	14.0	12.1	10.1	20.2	12.0	29.8
CC									
CC-a 他者とのコミュニケーション能力	CC-a-1 言語および非言語的コミュニケーションの発達 ◆ 知能・言語検査の実施:言語能力をできるだけ網羅的にアセスメントすることが可能な知能検査や言語検査を実施する。 ◆ 使用検査尺度:下記から該当する数字を記入 ◆ 検査などの結果から言語発達について判断する		1.1	1.7	2.6	2.5	0.9	1.7	9.6
			14.8	15.1	14.2	15.0	10.4	13.2	22.3
CC-b 他者との関係性	CC-b-1 共感性と協働行動 ◆ 以下の向社会的行動が見られるか、以下の項目を本人、養育者、教師に質問するかあるいは観察によって評価する。(Strength and Difficulties Questionnaire, Goodman, 1999)。		2.1	3.3	2.5	3.3	4.2	1.6	13.8
			14.6	15.7	12.0	10.0	15.0	11.9	26.7
	CC-b-2 養育者との関係性の特徴(安定した愛着が形成されているかどうか:アタッチメントQソート尺度,Waters, 対人的信頼感尺度、酒井, 2002から) ◆ 以下の質問を本人や養育者、教師に質問するか、観察する。3項目とも"いいえ"なら、主たる養育者あるいはその他の養育者との関係性はこの年齢段階でも安定していない可能性があり、さらに詳しい情報や観察が必要である。		4.2	2.5	1.7	2.5	5.0	3.3	12.0
			8.9	7.4	5.6	6.4	13.2	8.3	22.9
CC-b-3 友だちとの関係性の特徴 ◆ 同年齢の子どもたちとの関係性について、本人、養育者、教師に質問するかあるいは観察によって評価する。(Strength and Difficulties Questionnaire, Goodman, 1999)。		4.2	4.1	3.3	2.4	3.3	2.4	12.8	
		9.0	11.1	7.4	6.4	12.3	7.3	22.9	
	CC-b-4 教師との関係性の特徴 ◆ 以下の質問を本人、養育者、教師に質問するかあるいは観察によって評価する。		3.2	5.8	3.3	2.4	6.7	4.1	14.5
			12.4	17.8	11.1	10.0	15.9	11.9	27.6
CD									
CD-a 認知(知的)発達の程度	CD-a 認知(知的)発達の程度 知能検査の実施:認知(知的)発達についてできるだけ網羅的にアセスメントすることが可能な知能検査を実施する。 ◆ 使用検査尺度:下記から該当する数字を記入 ◆ 検査などの結果から認知(知的)発達について評価する ◆ 学業成績 学校の成績について尋ねる		2.1	1.7	1.7	3.4	0.8	1.7	8.6
			11.2	17.2	10.5	9.4	3.8	8.7	23.3
CD-b 問題解決能力・意欲	CD-b 問題解決能力・意欲 ◆ 認知欲求と情報操作リテラシー 以下の項目を本人、養育者、教師に質問するかあるいは観察によって評価する。(認知欲求尺度、神山他, 1991; 情報操作リテラシー尺度、坂元, 2002より)		3.2	5.8	4.2	5.8	7.2	3.3	16.4
			20.0	22.4	20.8	18.7	22.6	18.9	36.5

評価分類	評価項目 評価細目	質問項目及びその内容	基本版	養護 相談	虐待 相談	非行 相談	障害 相談	育成 相談	保健 相談
CE.									
CE-a-1	日常生活能力	CE-a-1 日常生活能力 ◆ 身辺自立の達成度 年齢相当の身辺自立が達成されているかどうか、検査や養育者への質問、あるいは観察によって判断する。 ◆ 使用検査尺度:下記から該当する数字を記入	1.0	2.5	1.7	4.2	3.4	0.8	8.6
			12.1	15.7	14.0	15.9	8.5	14.3	22.3
CE-b	社会的規範意識	CE-b 社会的規範意識 ◆ 規則に対する尊重傾向きまりを守ることなどをどれだけ大切に考えているか、ふだんのようにして養育者に尋ねるか、観察する(青年の規範意識尺度 菅原他2004から)。	2.1	3.3	2.5	2.4	6.7	4.9	20.5
			16.9	16.8	14.0	7.3	20.8	18.7	36.5
CF									
CF-a-1	子どもの発達課題の達成状況	CF-a-1 子どもの発達課題の達成状況:“養育者との愛着形成”・“集団生活への適応” ◆ 家庭外での集団生活を送っている場合(多くは学校生活)、集団への適応のようすについて、CA-a-36,CC-b-4、およびCa-c-34,CA-c-32の結果や、面接、観察などの情報をから総合的に判断する。	1.1	0.8	0.8	2.5	3.3	2.5	11.2
			6.8	7.5	5.7	6.5	9.3	7.6	23.1
CF-a-2	生育史	CF-a-21 妊娠中～出生時の状況 ◆ 対象の子どもの妊娠・出産は望まれたものだったかどうかを尋ねる(どれか1つを選択)。 ◆ 妊娠中と分娩の問題の有無について、母子健康手帳や養育者への質問などから確認 ◆ 出生時の問題の有無について、母子健康手帳や養育者への質問などから確認する ◆ 過去の哺乳形態(該当する数字を記入)	4.4	4.4	3.5	7.0	6.1	6.1	10.8
			9.4	7.8	6.9	10.8	7.8	8.0	17.3
		CF-a-22 乳幼児期の状況 ◆ これまでの健診の受診歴とその結果 ◆ これまでの主な予防接種 ◆ 幼児教育について	3.4	2.7	2.7	5.3	2.7	3.6	2.7
			9.3	6.7	7.8	9.6	5.8	7.8	7.0
CF-a-3	既往歴	CF-a-3 既往歴 ◆ 疾患既往とその治療歴(入院の有無) ◆ 怪我・事故とその治療歴	2.2	4.4	2.6	5.3	1.7	4.3	2.7
			7.0	7.6	5.8	7.7	4.8	4.9	6.0
CF-a-4	養育歴	CF-a-4 養育歴 ◆ 実の親との離死別経験の有無と期間 ◆ 託児経験の(保育所など)有無と期間、託児先(1つ選択)	0.0	0.0	0.0	1.7	1.7	2.6	8.0
			5.8	4.9	5.8	5.8	8.8	7.8	17.0
CF-a-5	その他の特記事項	CF-a-5 そのほかの特記事項 ◆ 特記事項の有無	2.4	4.0	3.0	5.0	3.0	3.0	4.0
			10.5	10.9	9.9	12.0	10.0	9.9	10.1
CF-b	子どもの気質的特徴	CF-b 子どもの気質的特徴 子どものふるまい方の特徴について、養育者に質問するかあるいは観察によって評価する。(Cloninger, 1996, Junior-TCIから)。 ◆ 対人的な行動特徴(人見知り傾向)	1.1	1.7	0.8	5.0	1.7	1.6	11.2
			10.9	9.5	9.5	11.3	11.7	8.5	24.5
			2.1	3.3	1.7	3.3	4.2	2.5	9.5
			10.3	12.3	9.4	10.3	13.6	11.3	24.5
		◆ 持続性	2.1	3.3	1.7	3.3	4.2	2.5	9.5
			10.3	12.3	9.4	10.3	13.6	11.3	24.5
		◆ 不安(損害回避)傾向	2.1	3.3	1.7	3.3	4.2	2.5	10.3
			8.0	8.6	7.6	8.5	13.5	8.5	24.5

2. 家庭

評価 分類	評価項目 評価細目	質問項目及びその内容	基本版	養護 相談	虐待 相談	非行 相談	障害 相談	育成 相談	保健 相談
FA.	FA-a 養育者お よびメン バーの身 体疾患・ 身体障害	FA-a 養育者およびメンバーの身体疾患・身体障害 :家族メンバーの現在の身体疾患・身体障害の有無について情報を得る。 主たる養育者とそのほかの家族(対象の子どもを除く、対象の子どものきょうだいを含む)について該当者がいるかどうか確認する。 ◆現在の主たる養育者について	1.1	0.8	0.8	3.3	0.8	0.8	4.3
		◆養育に参加しているその他の家族メンバーの状況	4.3	3.3	3.4	6.7	3.4	3.4	7.9
		◆対象の子どものきょうだい	3.2	2.5	2.6	5.1	2.6	2.5	5.3
	FA-b 養育者お よび家族 メンバー の精神障 害	FA-b 養育者および家族メンバーの精神障害 :家族メンバーの現在の身体疾患・身体障害の有無について情報を得る。 主たる養育者とそのほかの家族(対象の子どもを除く、対象の子どものきょうだいを含む)について該当者がいるかどうか確認する。 ◆現在の主たる養育者について	1.1	0.8	0.8	2.5	0.9	0.8	3.4
		◆養育に参加しているその他の家族メンバーの状況	3.2	2.5	2.5	4.2	2.6	2.5	5.2
		◆対象の子どものきょうだい	3.2	2.5	2.6	4.2	2.6	2.5	6.1
	FA-c 養育者お よびメン バーのそ の他の健 康に関す る問題	FA-c-1 養育者の抑うつ度 養育者の抑うつ症状と重症度をチェックする。 以下の3項目を質問し、すべて“はい”なら精査用の自己記入式うつ病スク リーニング尺度を実施するなど、さらに詳しい情報を収集する(★DSM-IVよ り)。 ◆主たる養育者についての評価 ◆そのほかの養育者についての評価	2.1	1.6	1.6	2.5	2.5	1.6	5.2
		FA-c-2 養育者のアルコール乱用度 養育者のアルコール乱用度をチェック する。以下の5項目を質問し、すべて“はい”なら、さらに詳しい情報を収集 する(★Smith, 1997より)。 ◆主たる養育者についての評価 ◆そのほかの養育者についての評価	1.0	0.8	0.8	1.6	3.4	1.6	5.2
		FA-c-3 養育者の家庭内での暴力使用 養育者の家庭内での暴力使用傾 向をチェックする。以下の3項目を質問し、どれか1つ以上にあてはまるなら “暴力使用あり”とし、さらに詳しい情報を収集する。 ◆主たる養育者についての評価 ◆そのほかの養育者についての評価	1.0	1.6	0.8	1.6	3.4	0.8	5.2
FB.	FB-a-1 養育者か ら見た親 子の愛着 関係	FB-a-1 養育者から見た親子の愛着関係 主たる養育者およびそのほかの 養育者の対象の子どもの愛着関係についての評価について、以下の3項 目の質問をする。すべてに“いいえ”と回答する場合には、対象の子どもの 関係形成に養育者が困難を抱えている可能性があるかもしれず、精査尺度 (★The Inventory of Parent and Peer Attachment, Armsden & Greenberg, 1987; 信頼感尺度, 酒井他, 2002; 産後ボンディング尺度, Brockington et al., 2001)などや面接の継続、観察によってさらに詳しい情報 収集をする。 ◆主たる養育者についての評価 ◆そのほかの養育者についての評価	1.1	0.8	1.7	1.6	2.5	1.7	6.1
	FB-a-2 配偶者間 の情緒的 関係	FB-a-2 配偶者間の情緒的關係 両親が存在する場合、または主たる養育 者とそのパートナーとの関係性について以下の4項目について質問する。す べてに“いいえ”と回答するときには、配偶者間に問題が存在するかもしれ ず、さらに詳しい情報を収集する。(★夫婦関係尺度, Marital Adjustment Test, Lock, 1954; 菅原他, Marital Love Scale, 1998より)	2.1	3.3	1.7	2.5	3.4	2.5	9.5

評価分類	評価項目 評価細目	質問項目及びその内容	基本版	養護 相談	虐待 相談	非行 相談	障害 相談	育成 相談	保健 相談
	FB-a-2 配偶者間のコミュニケーション	FB-a-2 配偶者間のコミュニケーション	1.0	2.5	0.8	1.6	2.5	1.7	7.8
	FB-a-3 きょうだい関係	FB-a-3 きょうだい関係 ◆対象の子どもにきょうだいがいる場合、きょうだいのようすについて、養育者に質問するか観察する。	2.1	4.1	1.7	4.1	4.2	3.3	7.8
	FB-a-4 同居家族間のその他の関係性	FB-a-4 同居家族間のその他の関係性 家庭内のその他の対人関係しついで以下の質問をする。 ◆対立関係にあるのは	3.1	5.0	2.5	4.9	5.0	2.5	10.3
FC.									
	FC-a-1 家族関係の安定性	FC-a-1 家族関係の安定性 家族のまとまりのよさ(凝集性)について以下の質問をする。すべていいえなら、家族はまとまりを欠いているかもしれない、さらに詳しく情報を収集する(★FACES-III, Olson, 1997, 家庭の雰囲気尺度, 菅原1999などより)	2.1	1.7	0.8	2.5	4.2	1.7	7.8
	FC-a-2 家族の行事	FC-a-2 家族の行事 ◆家族の行事や旅行などの活動が実施されているか質問する(★Family Activity Scales, Smith, 1985より)	5.3	6.6	5.0	7.4	10.8	5.8	15.5
	FC-b-1 メンバーのライフスタイルと生活価値観	FC-b-1 メンバーの生活価値観 ◆主たる養育者その他の養育者の仕事・家庭生活・趣味に対する価値観がどれに近いかを本人たちか、あるいは面談者に尋ねる(近いもの1つを選択)	5.3	7.4	4.1	5.7	10.1	5.0	16.4
FD.									
	FD-a-1 家族内での役割分担	FD-a-1 家族内での役割分担 ◆就労(生計の確保)・家事・子育ての3つの分担が家族内でどのように行われているか質問し、以下の選択肢のうち該当するものを記入する。	1.1	1.7	0.8	2.5	5.9	1.7	8.6
	FD-a-2 家族内でのリーダーシップとその柔軟性	FD-a-2 家族内でのリーダーシップとその柔軟性 ◆家庭内での決定権のありかたについて質問する(★FACES-IIIなどより)。	3.2	2.5	1.7	3.3	6.7	3.3	13.8
	FD-b 問題解決機能	FD-b 問題解決機能 ◆今回の主訴となっている問題に対する家族メンバーの認識と取り組みの状況を尋ねる。	3.2	3.3	2.5	3.3	6.7	3.3	10.3
FE.									
	FE-a-1 住居のようす	FE-a-1 住居のようす ◆同居家族 現在対象の子どもと同居している人全員の番号を記載する	3.1	3.3	3.3	5.0	4.2	4.2	8.6
		◆住居の形態 対象の子どもが生活している住居について、養育者などに質問するか、現況観察をおこなってみていく。(該当する番号を記載)	2.1	2.5	2.5	5.0	5.9	5.0	11.2
		◆住居の清潔度と乱雑さ(★Family Cleanliness Scale, Davie et al., 1984; CHAOS尺度: Psychometric Characteristics of the Confusion, Hubbub, and Order Scale, Matheny et al., 1995より)	2.1	1.6	1.7	5.8	10.1	5.0	11.2
		◆住居に対する住み心地の良さ	8.5	9.2	8.4	10.0	15.1	10.0	17.2

評価分類	評価項目 評価細目	質問項目及びその内容	基本版	養護 相談	虐待 相談	非行 相談	障害 相談	育成 相談	保健 相談
FE-b-1 家庭の社会・経済 的状況	FE-b-1 家庭の社会・経済的状況 ◆ 養育者の学歴 主たる養育者とそのほかの養育者の2名について情報を得る。選択肢の中から該当するものを1つ選んで記入。		5.2	5.8	5.8	7.4	10.0	5.8	15.5
	◆ 養育者の就労状況 主たる養育者とそのほかの養育者の2名について情報を得る。選択肢の中から該当するものを1つ選んで記入。		1.1	0.8	0.8	3.4	3.4	3.4	8.8
	◆ 家庭収入 家庭のおよその年収について尋ねる。同居家族全員の中で収入のある人について、ボーナスを含め、税込みで過去1年間の収入額を聞く。		2.1	1.6	0.8	5.7	11.6	9.0	18.1
	◆ 借金・ローン返済 借金やローン返済が家計をどの程度圧迫しているか質問する。		3.1	1.6	2.5	6.6	16.7	10.7	22.4
	◆ 養育者の職業 主たる養育者を始め、3人までの同居人の職業を尋ねる。あてはまる番号を記入する。		3.2	2.5	2.5	5.0	7.6	5.0	16.5
	◆ 就労形態 主たる養育者とそのほかの養育者の職業を尋ねる。あてはまる番号を記入。		3.2	1.7	3.4	5.0	8.3	6.6	16.4
	◆ 就労時間 所定内労働時間、残業時間、休日出勤、持ち帰り仕事、時間外の接待など、仕事と考えられる実質的な労働時間について、この3ヶ月を平均してみると1ヶ月あたり何時間くらいになるか尋ねる(実時間数を記入)。		6.4	6.6	5.9	8.4	14.3	10.0	23.5
FE-c 養育機能 (ペアレン ティング)	FE-c-1 子育てに関する基本的スキル(環境設定) 養育に関する基本事項が遂行されているかどうか確認する。すべてが「いいえ」なら、養育者の子育てスキルは低く対象の子どもの養育環境は良質なものではないかもしれない(主たる養育者について判断)。		2.1	2.5	1.6	2.5	4.2	2.5	6.9
	FE-c-2 教育的関心度 対象の子どもの教育に対する養育者の関心や行動をみる。養育者に直接尋ねるか、観察する(HOME, Bradley, 1983, ほか)。		4.2	2.5	1.7	2.5	5.9	2.5	15.5
	FE-c-3 養育行動 主たる養育者その他の養育者の対象の子どもに対するかかわり方について評価する。観察するか、養育者に直接質問する。ケアの温かさや過干渉傾向、および不適切な養育行動(マルトリートメント)の3つの側面から見ていく(①と②は、Parent Behavior Inventory; Lovejoy et al., 1999 Parental Bonding Instrument; Parker et al., 1979; Maternal Sensitivity Scales; Ainsworth, 1969より、③はParent Behavior Inventory; Lovejoy et al., 1999, 「虐待防止の手引き」厚生労働省より)。 ① ケア: 得点が高いほど良好なかかわり ② 過干渉(行動制限): 得点が高いほど問題のあるかかわり ③ 不適切な養育行動(マルトリートメント): 得点が高いほど問題あるかかわり		2.1	2.5	1.6	2.5	3.3	1.6	8.6
	FE-c-4 子育てストレス(ストレッサー評価) 子育てに関する困難をどの程度抱えているか尋ねる(すべてあてはまるなら、子育て支援の必要度は高いかもしれない。さらに面接を継続したり、精密尺度(Daily Hassles Scale、子育て支援尺度、子育てバーンアウト尺度など)を用いるなどして詳しい情報を収集することが必要かもしれない)。		1.1	0.8	0.8	1.6	1.7	0.8	3.4
	FE-c-5 子育て意識 子育てに関するポジティブ、ネガティブ両面の意識について質問する(菅原他, 1999より)。多くの養育者は両面を感じているだろうが、もしもネガティブな気持ちのみが膨らんでいる場合には、FE-c-3と同様に子育て支援の必要度は高いかもしれない。		2.1	1.7	1.7	2.4	2.5	1.6	6.9
	FE-c-6 子育てのサポート資源 主たる養育者について、子育てについて相談したり、子どもを預かってくれる対象がいるかどうかを質問する。あてはまる番号を列記する。		2.1	1.7	1.7	4.9	2.5	1.6	6.0
	FE-d 家庭全体としての社会参加度 家庭全体として社会(地域や職場)にどのように関わっているか質問する。すべてが「いいえ」なら、当該家庭は社会から孤立しているかもしれない。さらに詳しい情報を得る必要があるかもしれない。		4.2	3.3	3.3	4.9	5.0	4.9	10.3